

はじめに

弊社エイセルの製品をご愛用いただき、まことにありがとうございます。

ここでは、オンラインアップデート版のインストールまでの手順をご説明いたします。

インストールの手順等についての情報は、**UNIX フィルターの取り扱い説明書 (UX_C_Filter.pdf)** に詳しい説明がございます。

インストールの際の、注意点等の情報がございますので、是非ご一読されますようお願いいたします。

また、本製品はカラープリンタ用 UNIX フィルター Ver2.1.0 以降をお持ちの方を対象にした、アップデートインストール版です。

本製品は、Ver2.1.0 以降のカラープリンタ用 UNIX フィルターとの差分のみのご提供となります。

カラープリンタ用 UNIX フィルターをお持ちでないお客様は、通常インストール版を、Ver2.1.0 未満のカラープリンタ用 UNIX フィルターをお持ちのお客様は、アップデートインストール版をご用意しております。詳細は、本製品を購入された販売店までお問い合わせ下さい。

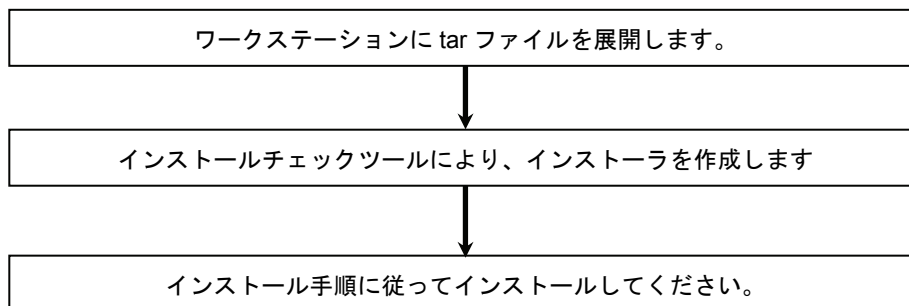
オンラインアップデート版 UNIX フィルターの使用方法

オンラインアップデート版の構成

UNIX フィルターのオンラインアップデート版は以下のファイルで構成されています。

UXFILTER.tar	tar 形式で作成された UNIX フィルターのインストールパッケージ
UX_C_Filter.pdf	UNIX フィルターの取り扱い説明書 (インストールガイド)
UF_C_PrintTool.pdf	GUI ツール ufptool の取り扱い説明書

インストールまでの手順概要



ソフトウェアのインストール

- ① ダウンロードした tar ファイルをワークステーションのディレクトリにコピーします。
注記 ▶ スーパーユーザーの権限をもっていない場合、システム管理者に設定を依頼してください。

- ② 環境変数 LANG の設定を行います。

/bin/csh の場合

```
setenv LANG C
```

/bin/sh の場合

```
LANG=C; export LANG
```

- ③ tar ファイルからインストールに必要なファイルを取り出します。
ここでは"/tmp"にファイルをコピーしたと仮定します。

```
# cd /tmp
# tar xvf ./UXFILTER.tar
```

以下のファイルが取り出されます。

- ▶ README UNIX フィルターの README ファイル
- ▶ ufinstchk UNIX フィルターのインストールチェックツール
- ▶ ufilter.tar UNIX フィルター本体を格納したパッケージ

- ④ インストールチェックツールを起動して、インストーラを作成します。「./ufinstchk」と入力して、オンラインマニュアルファイルのチェックを行います。

```
# ./ufinstchk
```

補足 ▶ インストールチェックツールは、オンラインマニュアルファイルを元にチェックを行います。

- ⑤ 以前のバージョンの、UNIX フィルターのオンラインマニュアルファイルの格納位置を指定します。各 OS 毎に以下のようなデフォルトディレクトリが指定されますので、それ以外にオンラインマニュアルファイルを格納されている場合は"n"を入力し、マニュアルファイルの位置を指定します。

[SunOS/Solaris]

```
# Manual file directory is '/usr/share/man/ja'? [y/n] : n
# Manual file directory is '/usr/man/japanese'? [y/n] : y
```

[HP-UX]

```
# Manual file directory is '/usr/man/japanese.euc'? [y/n] : y
```

[Linux]

```
# Manual file directory is '/usr/share/man/ja'? [y/n] : n
# Manual file directory is '/usr/man/ja_JP.eucJP'? [y/n] : n
# Manual file directory is '/usr/man/ja_JP.ujis'? [y/n] : y
```

補足 ▶ オンラインマニュアルファイルのデフォルト格納位置は、上記のいずれかになっています。

デフォルトディレクトリ以外を指定したい場合は、"n"を入力すると次の質問が行われますので、オンラインマニュアルファイルの格納されているディレクトリを入力します。

```
# Enter manual file directory. : /usr/local/man/ja
# Directory is '/usr/local/man/ja'? [y/n] : y
```

オンラインマニュアルファイルのチェックが行われます。

```
# Checking manual files...
# done.
```

チェックが完了すると、以下のメッセージが表示され、カレントディレクトリにインストーラが作成されます。

```
# Making installer...
# done.
# Installer making was successful.
```

チェックエラーとなった場合、以下のメッセージが表示されます。

```
# File check Error : File not found. Installer wasn't made.
```

注記 ▶ チェックエラーとなった場合は、インストーラは作成されません。UNIX フィルターのオンラインマニュアルファイルの格納されているディレクトリをご確認下さい。また、Ver2.1.0 以降のオンラインマニュアルが、インストールされていない場合もエラーとなります。必ず、Ver2.1.0 以降のオンラインマニュアルの格納されているディレクトリを指定してください。

次の警告メッセージが表示された場合は、作成されたインストーラによるバイナリアップデートは行わないください。インストーラより新規にプリンタの追加を行ってください。

```
# WARNING
# DocuPrint C1250/DocuColor C1250/C1250 CP
# DocuCentre Color 500/500 CP
# not installed
```

⑥ 「./install.sh」と入力して、インストーラを起動します。

```
# ./install.sh
```

注記 ▶ 本製品のみのご使用では、インストーラから選択できるプリンタは、DocuPrint C1250/DocuColor C1250/C1250 CP、DocuCentre Color 500/500 CP のみです。

ソフトウェアのアップデート

本アップデート版では、バイナリファイルのアップデートのみを行うメニューが、インストーラに存在します。バイナリのアップデートは以下のように行います。

- ① 上記ソフトウェアのインストールの⑥でインストーラを起動すると、以下のように表示されますので、「3」を選択し、バイナリファイルのアップデートを選択します。

```
Printer Model?
  1. DocuPrint C1250/DocuColor C1250/C1250 CP
  2. DocuCentre Color 500/500 CP
  3. Binary update only
  4. Exit
Enter Process No (1/2/3/4)? : 3
```

- ② バイナリファイルをアップデートするか尋ねてきます。「y」を入力します。

```
Update Binaries? (y/n) [y] : y
```

注記 ▶ バイナリファイルのアップデートを行わない場合は、ここで中止してください、これ以降ではインストールを中止することはできません。

- ③ UNIXFilter のインストールされているディレクトリを尋ねられます、現在 UNIXFilter がインストールされているディレクトリを入力してください。以下の例は、デフォルトディレクトリにインストールされている場合です。デフォルト以外のディレクトリにインストールされた場合は、SunOS/Linux では、UNIXFilter のフィルター及びユーティリティをインストールしたディレクトリ、Solaris/HP-UX では、ユーティリティをインストールしたディレクトリを、それぞれ入力してください。

[SunOS/Linux]

```
Enter library and binary installed directory.

Enter library directory name[/usr/lib/fxps1250]:

directory is '/usr/lib/fxps1250' (y/n) [n]:y
'Delete all old library files...done

Enter binary directory name[/usr/local/fxbin1250]:

directory is '/usr/local/fxbin1250' (y/n) [n]:y
'Delete all old binary files...done
```

[Solaris/HP-UX]

```
Enter binary installed directory name[/usr/local/fxbin1250]:

directory is '/usr/local/fxbin1250' (y/n) [n]:y
'Delete all old binary files...done
```

注記 ▶ ここで、存在しないディレクトリを入力された場合は、インストーラは処理を中止します、必ず UNIXFilter をインストールしたディレクトリを指定してください。

- ④ ソフトウェアがインストールされます。これでソフトウェアのアップデートは完了です。

done.

ソフトウェアのアップデートにより更新されるファイル

ソフトウェアのアップデートを行うと、以下のファイルが更新されます。

[SunOS] (ディレクトリ名はデフォルトのディレクトリです)

ディレクトリ	ファイル名	内容
/usr/local/fxbin1250	euc2ps2	テキスト変換ユーティリティ
	sunras2ps2	SunRaster 変換ユーティリティ
	sunras2g4	SunRaster 変換ユーティリティ
	tiff2ps2	TIFF 変換ユーティリティ
	tiff2g4	TIFF 変換ユーティリティ
	xwd2ps2	XWD 変換ユーティリティ
	xwd2g4	XWD 変換ユーティリティ
	fxoption	デフォルトコマンドオプションファイルの修正用コマンド
	ufptool	UNIX フィルタープリントツール
	Ufptool	UNIX フィルタープリントツールリソースファイル
/usr/local/fxbin1250/UFPDefault	.UFPDefault	UNIX フィルタープリントツールデフォルトコマンドオプションファイル
/usr/lib/fxps1250	fxpif	インプットフィルター
	fxpvf	ラスター出力フィルター
	fxpof	アウトプットフィルター
	fxpg4f	G4 形式ラスター出力フィルター
	fxoption_exec	.fxpsdefault 内の各オプションを書き換えるためのファイル
	string_from_printcap	/etc/printcap の内容を書き換えるためのファイル
	fbanner.ps	バナー出力ヘッダファイル
	fxpif_sample.sh	ネットワーク接続されたプリンタに出力する場合に利用するifフィルタースクリプトサンプル
	fxbinpath1250	UNIX フィルタープリントツール用ディレクトリ記述ファイル

[Solaris] (フィルター格納ディレクトリ名はデフォルトのディレクトリです)

ディレクトリ	ファイル名	内容
/usr/local/fxbin1250	euc2ps2	テキスト変換フィルター
	sunras2ps2	SunRaster 変換フィルター
	sunras2g4	SunRaster 変換フィルター
	tiff2ps2	TIFF 変換フィルター
	tiff2g4	TIFF 変換フィルター
	xwd2ps2	XWD 変換フィルター
	xwd2g4	XWD 変換フィルター
	fxpif	給紙トレイ設定フィルター
	ufptool	UNIX フィルタープリントツール
/usr/local/fxbin1250/UFPDefault	.UFPDefault	UNIX フィルタープリントツールデフォルトコマンドオプションファイル
/usr/lib/lp/postscript	posteuc1250	euc2ps2 を呼び出すシンボリックリンクファイル
	postfxps1250	fxpif を呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxbinpath1250	UNIX フィルタープリントツール用ディレクトリ記述ファイル

[Linux] (フィルター格納ディレクトリ名はデフォルトのディレクトリです)

ディレクトリ	ファイル名	内容
/usr/local/fxbin1250	euc2ps2	テキスト変換ユーティリティ
	xwd2ps2	XWD 変換ユーティリティ
	xwd2g4	XWD 変換ユーティリティ
	tiff2ps2	TIFF 変換ユーティリティ
	tiff2g4	TIFF 変換ユーティリティ
	fxoption	デフォルトコマンドオプションファイルの修正用コマンド
ufptool	UNIX フィルタプリントツール	
/usr/local/fxbin1250/UFPDefault	.UFPDefault	UNIX フィルタプリントツールデフォルトコマンドオプションファイル
/usr/X11R6/lib/X11/app-defaults	Ufptool	UNIX フィルタプリントツールリソースファイル
/usr/lib/fxps1250	fxpif	インプットフィルター
	fxpvf	XWD イメージ出力フィルター
	fxpof	アウトプットフィルター
	fxpg4f	G4 形式ラスター出力フィルター
	fxoption_exec	.fxpsdefault 内の各オプションを書き換えるためのファイル
	string_from_printcap	/etc/printcap の内容を書き換えるためのファイル
	fbanner.ps	バナー出力ヘッダファイル
	fxpif_sample.sh	ネットワーク接続されたプリンターに出力する場合に利用する if フィルタースクリプトサンプル
	fxbinpath1250	UNIX フィルタプリントツール用ディレクトリ記述ファイル

[HP-UX] (フィルター格納ディレクトリ名はデフォルトのディレクトリです)

ディレクトリ	ファイル名	内容
/usr/local/fxbin1250	euc2ps2	テキスト変換ユーティリティ
	xwd2ps2	XWD 変換ユーティリティ
	xwd2g4	XWD 変換ユーティリティ
	tiff2ps2	TIFF 変換ユーティリティ
	tiff2g4	TIFF 変換ユーティリティ
	ufptool	UNIX フィルタープリントツール
/usr/local/fxbin1250/UFPDefault	.UFPDefault	UNIX フィルタープリントツールデフォルトコマンドオプションファイル
/usr/lib/lp/postscript	fxbinpath1250	UNIX フィルタープリントツール用ディレクトリ記述ファイル

注記 ▶ このほかに、インストールされるファイルのオンラインマニュアルが更新されます。

注意制限事項

本アップデート版を用いて、インストールを行う際の注意制限事項です。

- バイナリアップデートを適用される場合、euc2ps2、sunras2ps2(SunOS/Solaris 版のみ)、tiff2ps2、xwd2ps2、などの各ユーティリティプログラムは更新されますが、Solaris、HP-UX での **lp コマンド使用時に指定できるオプションの追加は行われません。** 追加機能ご使用の際は、各ユーティリティプログラムにて追加のオプションを指定してご使用ください。
- Solaris10 のクライアント・サーバー環境にてご使用の場合（シリアルケーブルまたは、パラレルケーブルを用いて接続しているローカルワークステーションに、リモートワークステーションから印刷指示をする場合）、印刷指示を行うリモートワークステーションと、プリンタの接続されたローカルワークステーションの OS のバージョンおよび UNIX フィルターのバージョンは同じものを使用して下さい。

2011 年 10 月
エイセル株式会社